

研究雑話 (15)

精神薄弱と非行をめぐる問題…日本における一つ
の砦、国立浪速少年院(一九二三)と小川恂蔵。
E・セガン以降、大事なこといくつか(六)

藤井 力夫

前回は、滝之川学園創始者の石井亮一が障害児を指導するあたって掲げた基本原則(明治三七年)についてお話ししました。我々自身の原則として適用したいのみならず、世界教育史的にもたいへん貴重なものであることを理解していただきたいと思ひます。「E・セガン以降大事なこと」についての叙述は後二回程で終えたいと思ひます。今回は、障害児教育の成立と展開のなかで内包してきた問題をめぐってお話ししたいと思います。「精神薄弱≠非行」、「生来性犯罪人」、「劣性遺伝に対する断種立法による解決」といった考えのものとにできるだけ安く済ませようとする流れ。ナチ・ドイツではありません。社会有機体論のもとデモクラシーの名において一九一〇年代のアメリカで正当化された流れであります(一九〇五年から二八年まで一七の州で断種立法可決。計八五一人手術)。少なくとも障害児教育の成立・展開のなかで内包してきた生物社会学的な側面。結果として安価な処遇にあまんじる側面。これに対して日本ではどのような対応であったか。大正一二年(一九二三)設立の国立浪速少年院のとりくみを紹介するとともに、原則的で誇れる実践家が戦前の日本にいたことをお話ししたい。

大正十一年、少年法及び矯正院法が公布されました。それまでの感化法に代わるはじめての本格的な少年保護法。これにより十六歳から二三歳までは感化院でなく少年院の対象となり、大正一二年国立の二つの実験的な施設がつくられました。多摩少年院と浪速少年院。表AからD。すこし丹念に見ていただきたい。浪速少年院のとりくみの一端を理解していただけると思ひます。学校教育にのみ目が行っているととてもわかりません。大正一二年には、大阪ではじめて市内尋常小学校四校に特別学級(学業不振児)が設置され、全国的にも学校教育のなかで障害児学級が開始されていく時期。ですから、ここでの学科教育と実科教育の実践はとても重要な位置づけをもつ。いまでいえば小・中学校の障害児教育開始以前に、高等部教育が同時に開始され、一つのモデルを形成していたことになりす。收容者の知能年齢、三九%が「低能」、四三%が「劣等」、「普通」はたった一六%。生きる力をどうつけるか。現実を調査すればするほど生まれながらにしての「生来性犯罪人」ではない。「貧困」及び「精神薄弱」。犯罪に巻き込まれてしまった人たち。このことが明確になりす。「翻訳学者」ならいざしらず、彼らにどう生きる力をつけさせ

るか。

新しい容器に自身をつくっていく担当者にとって
は急務の課題。武蔵野感化院教務主任から浪速少年院院長として赴任した小川恂蔵は、学科教育と実科教育の充実、とくに職業教育を実社会で通用する本格的な内容を志向するとともに、生きる力の具体的指導を模索した。感化院時代、留岡幸助と関係深い小河滋次郎の門下生であった小川は、指導法の一つを大正八年設立の大島藤倉学園、川田貞治郎の実践に求めた。川田はアメリカ帰りであったが、生物社会学的な研究には否定的であった。実践に重きをおき、教材・教具の開発に情熱を燃やした。表Dにその一端を読みとることが出来る。農作業と手仕事の工夫のもとに子どもたちの能动性を切り開こうとしていた。小川は職員を藤倉学園で実習させるとともに、精神薄弱者教育の内容と方法の開発を命じた。小川は職員につきの三つを要求した。「少年を商品視するな。」「自己陶醉を慎め。」「功を焦るな。他を排するな。」(小川、一九二九)。

(北海道教育大学教授)

国立浪速少年院 (1923-27)

A. 寮舎教育

- ① 洗心寮 (新入院者対象)
- ② 学寮 (7棟。一室15名程度)
- ③ 家族寮 (8戸。退院練習)

B. 学科教育

- 第1教室、中学初学年程度、25名
- 第2教室、尋常5、6年程度、25名
- 第3教室、尋常3、4年程度、20名
- 第4教室、尋常2、3年程度、30名
- 第5教室、精神薄弱者教育、10名

C. 実科教育

- 園芸科(果樹、栽培、養豚等)、10名
- 藤工科(簡技、小椅子等)、15名
- 木工科(簡易木工、普通木工)、25名
- 縫工科(制服、作業服等)、15名
- 印刷科(院用紙、名刺等)、20名

D. 精神薄弱者教育の実態

数えること、加法、減法、乗法、除法。
読むこと、語句の教授、意志発表。
触覚の練習、圧覚の練習、臭覚の練習。
視覚の練習(長短比較、型ハメ課業等)
筋肉の練習(主として描画による)。

例、加法練習の順序

- ① 実物+実物 (〇〇〇〇〇+〇〇=)
- ② 実物+抽象数 (〇〇〇〇〇+2=)
- ③ 抽象数+実物 (5 + 〇〇=)
- ④ 抽象数+抽象数 (5 + 5 =)